

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	津波火災小委員会		主 査 名：西野智研 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：萩原一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>津波火災の被害予測手法とそれを活用した津波避難ビルの防火対策や配置の検討に資する最新の研究成果をまとめた報告書原案の作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度：都市レベルの津波火災ハザード評価手法の開発とそれに基づいた津波避難ビルの防火対策のあり方の検討。 ・2018 年度：津波火災を受ける鉄骨造津波避難ビルの構造安全性能評価手法の開発，報告書原案の執筆。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：西野智研 (京都大学) 幹事：城明秀 (竹中工務店) 委員：今津雄吾 (清水建設)、高麗憲志 (神戸大学)、近藤史朗 (清水建設)、鈴木淳一 (国土技術政策総合研究所)、鈴木秀和 (日本建築総合試験所)、関澤愛 (東京理科大学)、野竹宏彰 (清水建設)、森山修治 (日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2018 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 津波火災を受ける鉄骨造の津波避難ビルの構造安全性を性能的に評価可能な手法を開発した。また，開発した手法を設計例に適用し，津波の浸水深や津波避難ビル周辺の集積可燃物密度が耐火性能に与える影響を明らかにするとともに，耐火被覆の選定や津波による外壁の脱落の良し悪しおよび外壁開口部の大きさに関して，津波避難ビルの設計において注意すべき点について重要な示唆を得た。さらに，成果を原著論文としてまとめた。 2. 昨年度と今年度の活動成果を集めた報告書原案を作成した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし